

第2学年国語科学習指導案

平成30年11月1日（木）5校時

2年1組 児童数19名

指導者 森田 幸子 印

1 単元名 「昔話大すき玉手ばこ」～お気に入りの昔話を紹介し合おう～

教材名 「かさこじぞう」（東京書籍2年）

新学習指導要領における【身に付けさせたい資質・能力】	【設定した言語活動とその設定理由】
【知・技】 (3) ア 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。 エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	【言語活動】 様々な昔話を読み、お気に入りの昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、紹介し合う。
【思・判・表】 Cオ 文章の内容と自分の体験を結びつけて、感想を持つことができる。 Cカ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	【理由】 「昔話おすすめカード」にお気に入りの昔話のおもしろさをまとめ、交流することを通して、考えを広げたり、深めたりしながら昔話の楽しさを味わい、読書意欲を高めることができると考える。
【学びに向かう力】 様々な昔話を楽しんで読書をし、おもしろさを見付けたり、紹介したりしようとする。	

2 単元について

単 元 観

○現行学習指導要領の指導事項は、C読むこと「オ 文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」、「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」である。

○本教材は、昔話ならではの独特の語りや、やわらかい方言の響きや掛け合いのリズムのおもしろさ、ストーリーの不思議さなどを感じ取ることができ、昔話を楽しんで読むという目標を達成するのに適した教材である。また、登場人物がいる場所と時間の経過によって、まとまりがつかみやすく、「だれが」「どうして」「どうなった」という話の変化がとらえやすい構成になっており、その展開の変化が昔話のおもしろさにつながっている。

○本単元で取り上げる「昔話おすすめカード」には、昔話の題名、どんなお話か、お気に入りの昔話のおもしろいと思ったところやそのわけを書く。そして、その見付けたおもしろさを交流し合うことで、自分の思いや考えを伝え合う力をつけることができ、互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりして、読みの世界を広げていくことができると考えている。

児 童 観

○1年生12月の、「おとうとねずみちろ」では、いろいろな物語を読み、登場人物の好きなところを紹介することを通して、自分の思いや考えを伝え合う学習を行っている。2年生6月の「お手紙」では、人物のしたことや順序やそのときの様子に気をつけてどんな人物かを考えながら読み、お話会で大好きな人物を紹介する学習を行った。9月の「名前を見てちょうだい」では、場面分けをし、お気に入りの場面を人物の気持ちや様子を想像しながら音読劇で表現する学習をしてきている。

○4月実施の標準学力調査の「読む」領域では、全国正答率69%に対して69.2%であった。しかし、自分の思いを発表することが苦手な児童や、友だちの意見に流されやすい児童がいる。また、読書は大好きだが、昔話はあまり読まれていないという傾向が見られる。

指 導 観

○第一次では、図書担当教員からの「昔話貸出冊数を増やすために力を貸してほしい」という依頼をもとに、昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、言葉や文章を示しながら紹介し合うという単元のゴールを示し、興味を持てるような導入とする。そして、付けたい力を確かめた上でおもしろさを紹介し合うためにはどんな学習が必要か自分たちで考え、学習計画を立てさせ、主体的な学びを目指していく足がかりとする。次に「かさこじぞう」の読み聞かせをし、昔話のおもしろさを見付けるときの3つの観点（昔話特有の語り口や表現、人物の人物や言動、物語の展開や変化）に気付かせる。また、本教材に入る前から、昔話を読める環境を整備し、第二次の活動の際にスムーズに入ることができるようにしておく。並行読書カードに印を入れながら、様々な昔話を読ませ、それと同時に、並行読書の一覧表も掲示し、学級の読書記録としていく。

○第二次では、教材文を「習熟の場」、お気に入りの昔話を「活用の場」として、交互に読み進めながら、「習熟の場」で学んだことを生かして次の時間に「活用の場」で同じ活動を行っていく。第一次で見付けた昔話のおもしろさの3つの観点到着目して、昔話のおもしろさを見付け、「昔話おすすめカード」にまとめ、伝え合う。その際は、文章の内容と自分の経験と結びつけて、自分の思いや考えを語らせたい。

○第三次では、3つの観点から見付けたお気に入りの昔話を紹介し合う。友だちと交流し合うことで相違点や共通点を見出し、もっと他の昔話を読んでみたいという意欲を高めさせたい。また、感想を伝え合うことでいろいろな感じ方や考え方があるといふことに気付かせ、読みの多様性を味わわせたい。継続して読書の世界を広げたり、他学年にも広めるため「昔話大すき玉手ばこ」という部屋を作り、そこにカードを掲示し、感想を書いて交流し合うことができるようにする。そして、後日図書担当教員から昔話貸出冊数結果を報告してもらい、達成感を味わわせたい。

3 単元の目標

- 友だちに紹介するために、昔話のおもしろさを見付けながら読もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎昔話を読んで、お気に入りの昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、紹介することができる。 【C読むこと(1)オ】
- 様々な昔話の中から、読みたい本を選んで、楽しんで読むことができる。 【C読むこと(1)カ】
- 昔話の特有の語り口や表現に気付き、親しみを感じることができる。 【言(1)ア(ア)】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①友だちに紹介するために、昔話のおもしろさを見付けながら読もうとしている。	①昔話を読んで、お気に入りの昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、紹介している。 ②様々な昔話を楽しんで読み、紹介したいお気に入りの昔話を選んでいる。	①昔話の特有の語り口や表現に気付き、親しんで読んでいる。

5 指導と評価の計画 (全11時間)

		めあて	評価規準【評価方法】	学び	評価
第 二 次 2	1	2つの力をつけるために ・どんな学しゅうをしていけばいいかな。 学しゅうけい画を立てよう。	・「様々な昔話を読み、お気に入りの昔話のおもしろさを紹介し合う」という単元のゴールを知り、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 【発言・ノート】	主	関①
	2	・むかし話には、どんなおもしろさがあるかな。 「かさこじぞう」を読んで見つけよう。	・「かさこじぞう」にはいろいろなおもしろさがあることに気付いている。 【発言・ホワイトボード・ノート】	主	関①
第 二 次 6	3	お気に入りのむかし話をしょうかいするために ・むかし話の言い方やことばにちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさを見つけよう。	・「米のもちこ ひとつすばったら」や「じょいやさ、じょいやさ」などといった「かさこじぞう」特有の語り口や言い回しに着目して、昔話のおもしろさを見付けている。 【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】	対	読① 言①
	4	お気に入りのむかし話をしょうかいするために ・むかし話の言い方やことばにちゅうもくして、むかし話のおもしろさを見つけよう。	・前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、昔話特有の語り口や言葉に着目して、お気に入りの昔話のおもしろさを見付けている。 【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】	対	読② 言①

	5	<p>お気に入りのむかし話をしょうかいするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とう場人ぶつのしたことや会話にちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさを伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かさこじぞう」の登場人物のしたことや会話に着目して、お気に入りのところやそのわけをとらえている。 <p>【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】</p>	対 深	読①
	6	<p>お気に入りのむかし話をしょうかいするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とう場人ぶつのしたことや会話にちゅうもくして、むかし話のおもしろさを伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、登場人物のしたことや会話に着目して、お気に入りの昔話のおもしろいと思ったところやそのわけをとらえている。 <p>【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】</p>	対 深	読① 読②
	7	<p>お気に入りのむかし話をしょうかいするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とう場人ぶつがどうなったのかにちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさを見つけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かさこじぞう」の登場人物が始めと最後でどうなったのか、またなぜそうだったのか、そのわけをとらえ、昔話のおもしろさを見付けている。 <p>【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】</p>	対	読①
	8 (本時)	<p>お気に入りのむかし話をしょうかいするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とう場人ぶつがどうなったのかにちゅうもくして、むかし話のおもしろさを見つけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、お気に入りの昔話の登場人物が始めと最後でどうなったのか、またなぜそうだったのかそのわけをとらえ、昔話のおもしろさを見付けている。 <p>【観察・発言・昔話おすすめカード・ノート】</p>	対 深	読① 読②
第三次 3	9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りのむかし話のおもしろさをしょうかいし合い、かんそうをつたえ合おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの昔話のおもしろさを紹介し合い、感想を伝えている。 <p>【観察・発言・感想カード・ノート】</p>	主 対	読① 読②
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・この学しゅうで、どんな力がついたかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この学習でどんな力が付いたか振り返り、これからも昔話を読む時は、この3つの観点に着目して様々な昔話を読もうとしている。 <p>【発言・ノート】</p>	主 深	関①

6 単元構想図

付けたい力に向けた言語活動

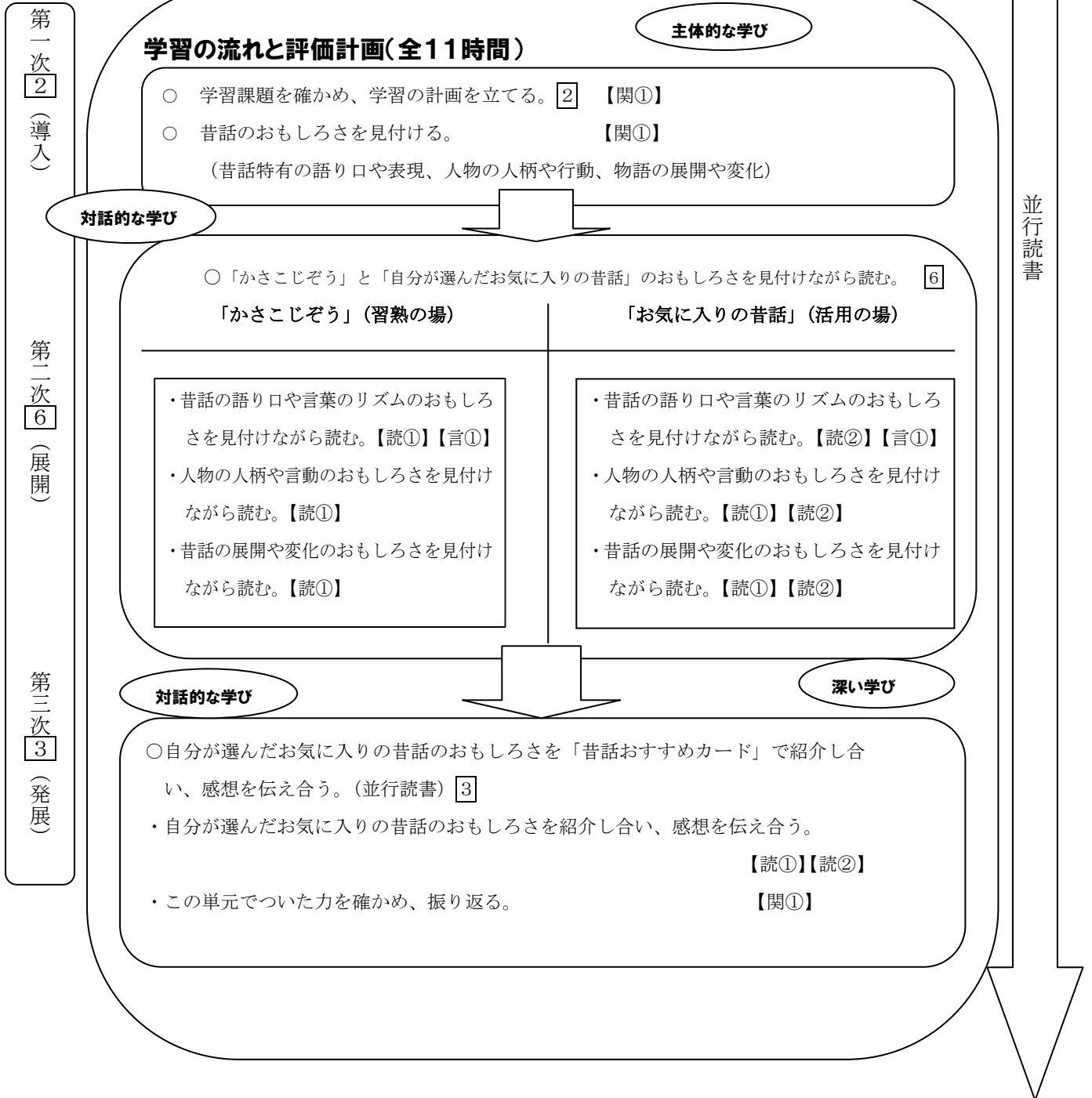
様々な昔話を読み、お気に入りの昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、紹介し合う。

児童の実態

自分の思いを自信を持って発表することが苦手で、伝え合う力や問い返す力に弱さが見られる。

本単元で児童に付けたい力

- ◎お気に入りの昔話のおもしろさを「昔話おすすめカード」にまとめ、紹介することができる。【C読むこと(1)オ】
- 様々な昔話の中から、読みたい本を選んで、楽しんで読むことができる。【C読むこと(1)カ】



7 本時における研究テーマとのかかわり

本時の目標 物語の展開や変化に着目して、お気に入りの昔話のおもしろさを見付けることができる。

本時の評価規準

☆前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、お気に入りの昔話の登場人物が始めと最後でどうなったのか、またなぜそうなったのか、そのわけをとらえ、昔話のおもしろさを見付けている。

主体的な学びにつながる手立て

・予習で考えてきたことを生かしたり、友だちの考えを聞いたりして、登場人物がなぜそうなったのか、人物が、始めの時の様子から大きく変わったおもしろさを見付けられるようにする。

深い学びへ向かう手立て

・自分の知識や経験を想起させ、他の昔話と結び付けながら考えさせる。
・問い返しの言葉を意識させて対話させる。
・学びを振り返らせ、今日友だちが紹介した本の中で、読んでみたいと思った本やそのわけを振り返りに書かせる。

軸となる言語活動

○昔話の展開や変化に着目して、自分の紹介したいお気に入りの昔話のおもしろさを伝える。

思考・判断

・登場人物がどうなったか、なぜそうなったのか、そのわけをとらえながら読む。

表現

・自分の知識や経験と結びつけたり、友だちの選んだ昔話と比べたりしながら、昔話のおもしろさに気付く。

支援

※「かさこじぞう」で学習したことを思い出させたり、掲示している教師のモデルを参考にさせたりする。

対話的な学びを実現するための手立て

・「むかし話おすすめカード」を書いて伝え合うことで、目的意識を持って対話させる。
・登場人物がどうなったのか、お話の始めの時の様子から大きく変わったおもしろさを「むかし話おすすめカード」やお気に入りの昔話の文章を示しながら対話させる。

8 学習の展開（全11時間）

第一次 1時間目（1/11）

(1) 目標 様々な昔話を読み、お気に入りの昔話のおもしろさを紹介する力を付けるためには、どのような学習をしていかなければならないか意欲的に考えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	<p>1. 物語文を読む学習では、いままでどんな力を付けてきたか振り返る（想起する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな登場人物を紹介する力 ・時、場所、登場人物を手がかりに場面を分ける力 ・お気に入りの場面を選び、気持ちや様子を想像して音読表現する力（音読劇） <p>2. 「むかし話おすすめカード」の教師のモデルを見て、学習の見通しを持ち、付けたい力を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2つの力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むかし話のおもしろさを見つける力 ・お気に入りのむかし話のおもしろさをしょうかいする力。 </div> <p>3. 本時のめあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0; display: inline-block;"> <p>2つの力をつけるために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; display: inline-block;"> <p>どんな学しゅうをしていけばいいかな。学しゅうけい画を立てよう。</p> </div>	<p>○既習の学習を想起させ、付けてきた力を確認し合う。</p> <p>○図書担当の教員の願いを児童に伝え、目的意識を持たせる。</p> <p>○教師作成のモデルを提示したり、『昔話大すき玉手ばこ』の部屋にみんなの作った「むかし話おすすめカード」を掲示し、1年生から6年生に昔話を大好きになってもらうために紹介することを伝えたりすることで、興味、関心、意欲をもたせる。</p> <p>○単元のゴールを伝え、この単元で付けたい2つの力を提示する。</p> <p>○「おもしろさ」というのは、「心に残ったところ」も含んでいることを伝える。</p>
思 考 判 断 表 現 す る	<p>4. どんな学習をしていけばいいか考える。</p> <p style="text-align: center;">【グループ】 → 【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書で、いろいろな昔話をたくさん読む。 ・おもしろさを見付ける。 ・お気に入りの昔話を選ぶ。 ・登場人物をみつけ、だれが、どうしたお話かまとめる。 ・「むかし話おすすめカード」の書き方を知る。 ・わけの言い方や書き方を知る。 ・おもしろいと思ったところやそのわけを書いて紹介する。 	<p>^発 お気に入りの昔話のおもしろさを見付け紹介する力を付けるためには、どんな学習をしていけばいいと思いますか。</p> <p>☆「様々な昔話を読み、お気に入りの昔話のおもしろさを紹介し合う」という単元のゴールを知り、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関①】（発言・ノート）</p>
ま と め 振 り 返 る	<p>5. 今日の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>家庭学習</p> <p>「かさこじぞう」を読んで、「だれが、どうしたお話か」ノートに書いて、おもしろいと思ったところを見付けてくる。</p> </div>	<p>○2つの力をつけるためにはどんなことを頑張っていきたいか、ということ振り返りに書かせる。</p>

第一次 2時間目 (2/11)

(1) 目標 昔話には、3つの観点のおもしろさがあることに気付くことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 前時の学習を想起する。 2. 「誰が」「どうした」お話を発表する。 3. 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> むかし話には、どんなおもしろさがあるかな。 「かさこじぞう」を読んで見つけよう。 </div>	○前時に作成した「学習の流れ」で確かめる。 ○予習を確認し、課題意識を持たせる。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	4. おもしろさを見付けながら「かさこじぞう」の読み聞かせを聞く。 【全体】 5. 「かさこじぞう」のおもしろいと思ったところを書き、発表する。 【個人】→【全体】 6. おもしろさを3つの観点に分ける。【全体】 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">むかし話のおもしろさ (3つのかんてん)</p> <p>①昔話の言い方やことばのおもしろさ</p> <p>②とう場人ぶつのおもしろさ (どんな人か、したことや言ったことのおもしろさ)</p> <p>③とう場人ぶつがどうなったのか のおもしろさ (ふしぎなことがおこったおもしろさ)</p> </div>	○「おもしろさ」というのは、「心に残ったところ」や「お気に入りのところ」や「大好きなところ」「感動したところ」も含んでいることを伝える。 ○自分がおもしろいと思ったところをホワイトボードに書かせる。 ^発 むかし話にはどんなおもしろさがありますか。 (思考のスキル：なかまわけ) ○昔話のおもしろさを見付ける時の3つの観点到に気づかせる。 ※教師のモデルを見せ、どのカテゴリーに入るか考えさせることで、3つの観点到に気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話特有の語り口や言い回し、リズム ・登場人物の人柄や行動 ・物語の展開や変化、不思議さ </div> ☆かさこじぞうには、いろいろなおもしろさがあることに気付いている。 【関①】(発言、ホワイトボード、ノート)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習をまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 家庭学習 「かさこじぞう」を読んで、昔話の言い方や言葉のおもしろさを見付け、丸でかこんでくる。 </div>	○昔話のおもしろさについてまとめる。 むかし話のおもしろさ ①昔話の言い方やことばのおもしろさ ②人ぶつのおもしろさ (どんな人か、したことや言ったことのおもしろさ) ③とう場人ぶつが、どうなったのかのおもしろさ (ふしぎなことがおこったおもしろさ)

第二次 1時間目 (3/11)

(1) 目標 昔話特有の語り口や言い回しに着目して、昔話のおもしろさを見付けることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために	○「学習の流れ」で確認する。 ○予習を確認し、課題意識を持たせる。
	むかし話の言い方やことばにちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさを見つけよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 予習で見つけてきた昔話の言い方や言葉のおもしろさを発表する。【全体】 ・じさまのうちはどこだ ばさまのうちはどこだ ・米のもちこ ひとつす ばったら ・じよいやさ じよいやさ 4. 自分達が見つけた昔話の言い方の中から一番おもしろいなと思った言い方(お気に入りの言い方)とそのわけをカードに書き、伝える。【個人】→【ペア】 5. 一番おもしろいなと思った言い方とわけを発表する。【全体】 ・ぼくは、「米のもちこ ひとつすばったら。」のことばがおもしろいと思いました。なぜなら、楽しい気もちになるからです。 ・ぼくは、「じよいやさ、じよいやさ」がおもしろいと思いました。なぜかというところじぞうさまが、たくさんのもつをいっしょうけんめいひっぱっているかんじがするからです。 6. 今日学習して、どんなことに注目すると「かさこじぞう」のおもしろさが見付かったかを確認する。【全体】 ・同じことばをくりかえしている ・リズムがある。歌みたい ・やさしさがたわってくる言い方 } おもしろい	○自分が見つつけてきた言葉と比べさせながら聞かせる。 ○全文揭示し、おもしろいと思った言い方に印をつけていく。 ○「おすすめカード」の書き方を説明する。 ※わけの書き方の話型を揭示し、書き方が分からない児童の手立てとする。 ※想像したことや感想を加えてわけが説明できるように教師のモデルを示しておく。 ○カードや本文を指さしたりしながら、伝え合わせる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。 ^発 どうしてその言い方がおもしろいと思ったのですか。 ○おもしろいと思った言い方には、同じ言葉が繰り返されていることに気づかせる。 (思考のスキル：くらべる) ☆「米のもちこ ひとつすばったら」や「じよいやさ、じよいやさ」などといった「かさこじぞう」特有の語り口や言い回しに着目して、昔話のおもしろさを見付けている。【読①】【言①】 (観察、発言、昔話おすすめカード、ノート)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 家庭学習 お気に入りの昔話の一番おもしろいなと思った言い方や言葉のところに付箋を貼り、カードに書いてくる。	○友だちが見つけた「かさこじぞう」に出てくる言葉や言い方を聞いておもしろいなど思ったことを振り返りに書かせる。

第二次 2時間目 (4/11)

(1) 目標 昔話特有の語り口や言い回しに着目して、昔話のおもしろさを見付けることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 前時の学習を想起する。 2. 昨日の振り返りをする。 3. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために	○「学習の流れ」で確認する ○・同じことばをくりかえしている } おもしろい ・リズムがある。歌みたい ・やさしさがつたわってくる言い方 } ○課題意識を持たせる。
	むかし話の言い方やことばにちゅうもくして、むかし話のおもしろさを見つけよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	4. いちばんおもしろいなおもった言い方を ホワイトボードに書く。 【個人】 5. なぜ、その言葉が一番おもしろいと思ったか そのわけをカードに書き、伝える。 【個人】→【ペア】 ・ぼくが、一番おもしろいと思った言葉は、～です。 わけは、～からです。 ・どうしてかという～な気持ちになるからです。 ・なぜかという～な気持ちがわかるからです。 ・なぜなら～な気持ちがつたわってくるからです。 6. 一番おもしろいと思った言い方とそのわけ を発表する。 【全体】 ・ぼくは、「 」という言い方がおもしろいと思いま した。わけは、同じ言葉が繰り返されているからです。 「かさこじぞう」の本とにているなと思いました。 ・わたしは、「 」ということばがおもしろいと思 いました。なぜかという～かんじがするからです。	○予習を確認する。 ○わけの書き方を確認する。 ※わけの書き方の話型を掲示し、書き方が分からない児童の 手立てとする。 ※想像したことや感想を加えてわけが説明できるように教 師のモデルを示しておく。 ○カードや昔話の文を指さしたりしながら、伝え合わせる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○聞き手は、自分の考えと比べながら聞くようにさせる。 ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。 ^発 どうしてその言い方がおもしろいと思っ たのですか。 ☆前時の「かさこじぞう」で学習したことを 生かして、昔話特有の語り口や言葉に着目 して、お気に入りの昔話のおもしろさを見付 けている。 【読②】【言①】 (観察、発言、昔話おすすめカード、ノート)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 家庭学習 「かさこじぞう」を読み、登場人物がしたこと や会話に注目してお気に入りのところを丸で囲 んでくる。	○友だちの紹介してくれた本の中でおもしろ いなおもった本とそのわけを振り返りに書 かせる。

第二次 3時間目 (5/11)

(1) 目標 登場人物の人柄や言動に着目して、昔話のお気に入りのところやそのわけを伝えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために	○「学習の流れ」で確認する。 ○予習を確認し、課題意識を持たせる。 ○「おもしろさ」とは、2時間目に伝えたことを再度確認する。
	どう場人ぶつのしたことや会話にちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさをつたえよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 同じお気に入りのところを選んだ友だちとそのわけを伝え合う。 【グループ】 ・ぼくのお気に入りのところは、～なところですよ。わけは、じいさまが、じぞうさまのことをとても心配して、優しいからです。 ・わたしのお気に入りのところは、○○君と同じところですよ。でもわけは、すこしちがって～だからです。 ・わたしの大好きなところは、○○さんと同じところですよ。なぜかという、自分も寒いのに、雪をかきおとしたり、大切なうり物のかさをかぶせてあげたりしているからです。じぞうさまを助けてあげているとても優しいじいさまの気持ちが伝わってくるからです。 4. お気に入りのところとそのわけを発表する。 【全体】 ・わたしのお気に入りのところは、～のところですよ。どうしてかという、ばあさまは、大切な売り物のかさをじぞうさまにかぶせてきたじいさまをおこらなかつたからです。じいさまと同じくらい優しいと思います。もし自分だったら……。	○一人一人が文章のどの叙述に対してどのような感想を持ったかを共有するために全文掲示をし、線を引いたり、言葉をかこんだり、指さしたりしながら、伝え合わせる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○聞き手は、自分の考えと比べながら聞くようにさせる。 ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。
	5. お気に入りのところとわけをカードに書く。 【個人】 6. 今日学習して、どんなことに注目すると「かさこじぞう」のおもしろさが見付かったかを確認する。 【全体】	^発 どうしてそこがお気に入りなのですか。 みんなにお気に入りのところが伝わるようにわけを教えてください。 ☆「かさこじぞう」の登場人物のしたことや会話に着目して、お気に入りのところやそのわけをとらえている。【読①】 (観察、発言、昔話おすすめカード、ノート) ○「おすすめカード」の書き方を説明する。 ○想像したことや感想を加えてわけが説明できるように教師のモデルを示しておく。 ※わけの書き方の話型を掲示し、発表の仕方が分からない児童の手立てとする。
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 家庭学習 自分が紹介したい大好きな昔話を選び、登場人物がしたことや会話に注目して、お気に入りのところに付箋を貼り、おもしろいなど思ったところをカードに書いてくる。	○今日の学習を通して、じいさまとばあさまに何か言ってあげたいことを振り返りに書かせる。

第二次 4時間目（6／11）

(1) 目標 登場人物の人柄や言動に着目して、お気に入りの昔話のおもしろいと思ったところやそのわけを伝えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認する。 2. 昨日の振り返りをする。 3. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために	○「学習の流れ」で確認する。 ○とう場人ぶつのおもしろさ (どんな人か、したことや言ったことのおもしろさ) ○課題意識を持たせる。
	とう場人ぶつのしたことや会話にちゅうもくして、むかし話のおもしろさをつたえよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	4. 一番おもしろいと思ったところをホワイトボードに書く。 【個人】 5. おもしろいと思ったわけをカードに書き伝え合う。 【個人】 → 【ペア】 ・ぼくがおもしろいと思ったところは、～のところでは、わけは、○○が、～だからです。 ・わたしがおもしろいと思ったところは、○○君と同じところだったけど、わけは、すこし違っています。～だからです。 ・わたしがおもしろいと思ったところは、みんなと違って、～のところでは、なぜかという、～からです。とても優しい○○の気持ちが伝わってくるからです。 6. おもしろいと思ったところとそのわけを発表する。 【全体】 ・ぼくがおもしろいと思ったところは、～のところでは、どうしてかという○○は、～からです。もし自分だったら・・・と思います。	○予習を確認する。 ○わけの書き方を確認する。 ※わけの書き方の話型を掲示し、発表の仕方が分からない児童の手立てとする。 ○想像したことや感想を加えてわけが説明できるように教師のモデルを示しておく。 ○昔話の本文を指さしたりしながら、伝え合わせる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○聞き手は、自分の考えと比べながら聞くようにさせる。 ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。 ^発 おもしろいと思ったところは、どこですか。 どうしてそこがおもしろいと思ったのですか。 みんなにおもしろいところが伝わるようにわけを教えてください。 ☆前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、登場人物のしたことや会話に着目して、お気に入りの昔話のおもしろいと思ったところやそのわけをとらえている。 【読①】【読②】 (観察、発言、昔話おすすめカード、ノート)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 家庭学習 「かさこじぞう」に出てくる登場人物は、始めはどうだったか、最後にどうなったのかに着目して、よく読んでくる。	○友だちが、見つけたむかし話のおもしろさは、どんなところがおもしろかったかを振り返りに書かせる。

第二次 5時間目 (7/11)

(1) 目標 展開や変化に着目して昔話のおもしろさを見付けることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認する。 2. 「かさこじぞう」の登場人物の様子が始めと最後が大きく変わっていることを確認する。 3. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために どう場人ぶつがどうなったのかにちゅうもくして、「かさこじぞう」のおもしろさを見つけよう。	○「学習の流れ」で確認する。 ○ 予習を確認する。 ○「おもしろさ」とは、2時間目に伝えたことを再度確認する。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	4. 登場人物がどうなったのか、始めと最後を「むかし話おすすめカード」とホワイトボードに書く。 【個人】 5. なぜそうなったのかそのわけを「むかし話おすすめカード」に書き、おもしろさを伝える。 【個人】→【ペア】→【全体】 ・「かさこじぞう」は、はじめは、じいさまとばあさまは、たいそうびんぼうだったけど、さい後は、よいお正月をむかえることができました。わけは、じいさまがじぞうさまにかさこや手ぬぐいをかぶせてあげたからおじぞうさまがおれいに来てくれたんだと思います。大切なかさこをかぶせてあげたじいさまは、やさしいなあと思いました。ぼくもじいさまみたいにこまっている人がいたらたすけてあげたいです。 ・ぼくは、じぞうさまが、おれいにいろいろなものをじいさまとばあさまにもって来てくれたからじぞうさまもやさしいなあと思いました。	○「むかし話おすすめカード」とホワイトボードの書き方を説明する。 ○始めは、どうだったのか、最後にどうなったのかに着目させる。 ※書き方の分からない児童には、掲示している教師のモデルを参考にさせたりする。 ○文章全体を見通してその根拠となる文をしっかりと押さえさせるため、全文掲示を活用し、文章に線を引いたり、指さしたりさせながら、伝え合わせる。 ○本に書いてあることをもとに想像させる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○聞き手は、自分の考えと比べながら聞くようにさせる。 ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。 ^発 どうしておもしろいと思ったのですか。 ☆「かさこじぞう」の登場人物が始めと最後でどうなったのか、またなぜそうなったのかそのわけをとらえて昔話のおもしろさを見付けている。 【読①】 (観察、発言、昔話おすすめカード、ノート)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 家庭学習 どう場人ぶつがどうなったのかに注目して、自分が紹介したいお気に入りの昔話をよく読み、人物がどうなったのか、大きく変わる前(始め)と大きく変わった後(最後)を「おすすめカード」に書いてくる。	○自分がこれまでに読んだ昔話にも今日のようなおもしろさがある本がないか、振り返りに書かせる。

第二次 6時間目（8／11）本時

(1) 目標 展開や変化に着目して、お気に入りの昔話のおもしろさを見付けることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認する。 2. 昨日の学習を振り返る。 3. 本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話をしようかいするために とう場人ぶつがどうなったのかにちゅうもくして、むかし話のおもしろさを見つけよう。	○「学習の流れ」で確認する。 ○課題意識を持たせる。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	4. 登場人物がどうなったのかを確認する。 【個人】 ・人物がどうなったのか、大きく変わる前（始め）と大きく変わった後（最後）をホワイトボードに書く。 5. 登場人物がなぜそうになったのか、そのわけを「昔話おすすめカード」に書き、おもしろさを伝える。 【個人】 → 【ペア】 ・「○○」は、はじめは、～は～だったのに、さい後は、～は～になってしまったお話です。わけは、～からです。～になってびっくりしました。もし自分だったら～と思います。 6. 始めは、どうだったのか、最後にどうなったのかを書いた全員のホワイトボードを貼り、聞いてみたいと思ったことを質問したり、おもしろいと思ったことを共有したりする。 【全体】 ・わたしが読んだ「○○」は、最後～が～になったけど、この「○○」は、最後～になっているから、どうしてか聞きたいです。 ・なぜかという、～が、～をしたからです。～が、～をすると～になってしまったからおもしろかったです。もし自分だったら、～すると思います。 ・○○さんの発表を聞いて、「○○」は、「○○」と似ているお話だなと思いました。	○予習を確認する。 ○なぜそうになったのか、その大きなきっかけとなったわけを1つだけ、短く簡単に書かせる。 ※支援が必要な児童には、「かさこじぞう」で学習したことや、掲示している教師のモデルを参考にさせる。 ○昔話の本に書いてあることをもとに想像させる。 ○自分の知識や経験と結びつけながら話をさせる。 ○聞き手は、自分のおもしろいと思ったことと比べながら聞くようにさせる ○問い返しの言葉を意識させて、対話させる。 ^発 「どうしてそうになったのか、聞いてみたいな。知りたいな。」と思った昔話がありますか。また、なぜその昔話を聞きたいと思ったのですか。 ☆前時の「かさこじぞう」で学習したことを生かして、自分が選んだ登場人物が始めと最後でどうなったのか、またなぜそうなったのかそのわけをとらえ、昔話のおもしろさを見付けている。 【読①】【読②】 （観察、発言、昔話おすすめカード、ノート）
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 ・ぼくは、「○○」を読みたいと思いました。わけは、ぼくが知っている「○○」は、最後～が～になるけど、～さんが今日しようかいしてくれた「○○」は、～になったからです。なぜそうなったのか、もっとくわしく知りたいので、その本を読みたいと思いました。 家庭学習 お気に入りの昔話のおもしろさを家の人に紹介してくる。 家の人がおもしろいと思ったところも聞いてくる。	○今日紹介してもらった本の中で、読んでみたいと思った本やそのわけを振り返りに書かせる。

(3) 準備物 紹介したいお気に入りの昔話の本、昔話おすすめカード

第三次 1・2時間目（9・10／11）

(1) 目標 お気に入りの昔話のおもしろさを紹介し合い、感想を伝え合うことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認し、本時のめあてをつかむ。 お気に入りのむかし話のおもしろさをしょうかいし合い、かんそうをつたえ合おう。	○単元計画を示した「学習の流れ」の掲示物を使い、単元の出口を意識させることで、本時の学習のめあてを明確にさせる。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	2. 感想カードの書き方を知る。 3. 昔話のおもしろさを紹介し合い、感想を「感想カード」に書き、伝え合う。 【ペア】→【グループ】→【旅学習】 ・あっそうか、そうだね。ぼくは、気がつかなかったけど、そんなおもしろさもあるね。 ・友だちのわけを聞いたら自分が気がつかなかったおもしろさに気がついたよ。「○○」のお話っていいお話だな。ますます、このお話がすきになったよ。 4. 友達と紹介し合って、気づいたことや思ったことを発表し合う。 【個人】→【全体】 ・○○さんの本もおもしろそうだなあと思いました。なぜなら、～と思ったからです。さっそく読んでみたいです。 ・○○のお話に出てくる～のようにわたしもいっぱい、いいことをして、心にいっぱいお花をさかせたいです。 ・むかし話みたいなことがほんとうにおこったら、いいなあと思います。なぜかという、しあわせなことがおこったり、ねがいがかんったりするからです。	○今まで作ってきた3種類の「むかし話おすすめカード」を使って、紹介し合う。 ○「むかし話おすすめカード」やお気に入りの昔話の本文を指さしたりしながら、伝え合わせる。 ○様々な昔話のおもしろさを知ること、読みの多様性を味わわせる。 ○ペアから始め、最後は、旅学習をして、いろいろな人と交流させる。 ^発 友達と交流して良かったと思うところや新しく気付いたことは、ありましたか。 ☆お気に入りの昔話のおもしろさを紹介し合い、感想を伝えている。 【読①】【読②】 (観察・発言・感想カード・ノート)
ま と め 振 り 返 る	5. 今日の学習を振り返る。 ・むかし話っておもしろいな。これからもいっぱい読んで読みたいな。 ・同じ題の本でもお話がちがっていることに気づいたよ。いろいろな昔話があるからおもしろいな。 家庭学習 友だちが紹介してくれた本のおもしろさを お家の人に話してくる。	○友だちとの交流からみつけた昔話のおもしろさを振り返りに書かせる。

(3) 準備物 紹介したいお気に入りの昔話の本、昔話おすすめカード、感想カード

第三次 3時間目（11／11）

(1) 目標 この学習で、どんな力が付いたか振り返ることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 今までの流れを確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">この学しゅうで、どんな力がついたかな。</div>	○学習の流れで確認し、目的意識をもたせる。 ○予習を確認し、課題意識を持たせる。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. この学習で、自分達にどんな力が付いたか、振り返る。 【全体】 4. この学習で、自分にはどんな力が付いたか、ノートにまとめる。 【個人】→【ペア】→【全体】 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなむかし話を楽しみながら読む力。 ・むかし話のおもしろさを見つける力 (昔話の言い方やリズムから) (とう場人ぶつの人からやしたことから) (とう場人ぶつがどうなったのかから) ・むかし話のお気に入りのところやわけをしょうかいする力 ・かんそう(思ったこと)をつたえる力 5. 「昔話大すき玉手ばこ」の部屋に掲示している友達の書いた「昔話おすすめカード」を読み、「昔話の家」のポストに感想を書いて入れる。	○P. 81の「てびき」～P. 84の「ことばの力」までを読み、この学習で、自分達にどんな力が付いたか、振り返らせる。 ^発 この学習でどんな力が付いたと思いますか。 ☆この学習でどんな力が付いたか振り返り、これからも、昔話を読む時は、この3つの観点に着目しておもしろさを見付けながら様々な昔話を読もうとしている。 【関①】(発言・ノート)
ま と め 振 り 返 る	6. この学習を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 家庭学習 いろいろな昔話の本を楽しみながら読んでくる。 </div>	○この単元の学習で、何ができるようになったのか、ここで付けた力をいろいろなむかし話を読む時にどう生かしていきたいかを振り返りに書かせる。

(3) 資料

- ・「昔話おすすめカード」
- ・感想カード